

2026 秋の大運動ニュース No.1

2026 年 9 月 2 4 日

保育・学童保育・子育て支援の充実を求める 秋の大運動大阪実行委員会

連絡先) 大阪保育運動連絡会 TEL06-6763-4381

実行委員会の構成：大阪保育運動連絡会・大阪学童保育連絡協議会・
大阪自治労連（保育部会／指導員労組連絡会）・全国福祉保育労働組
合大阪地方本部・社会福祉経営全国会議大阪支部

秋の大運動はじまるよ～



★前半のとりくみ予定★

9 月 2 4 日 スタート集会

1 0 月中旬～1 1 月中

自治体キャラバン

1 1 月 8 日 保育大集会 in 青山

1 1 月 9 日 政府・国会要請行動

☆秋の大運動とは一願いを届ける運動

働く保護者、保育者たちの願いをもとに、「秋の大運動」は毎年、保育・学童保育・子育て支援の充実のため
国や大阪府や市町村に制度の改善を求めてきました。

誰もが安心して子どもを生み育てられ、子どもが元気に笑顔で育ってほしい。子どもの声が受け止められる
保育・学童保育であってほしい。あたりまえに入園・入所でき、子どもたちによりよい環境で育ってほしい…。
でも、希望通りの入所ができない、保育室がギューギュー詰め、先生が大変そうで話しかけづらい、先生不足で
いろんな整備が進まない、保育料や経費の負担が重い…など「改善してほしいこと」はたくさんあります。

秋の大運動では、こうした願いを署名にすることで、多くの人（友だち、会社の人、家族・親せき、地域の人
たちなど）に知ってもらい、賛同を広げてきました。

署名は、国会・府議会（・市町村議会）に届けられます。また議員さんとも懇談し、現場の想いや状況を伝え
ます。こうした活動を通じて、保育所や学童保育の大切さや課題が多くの人たちに伝わり、改善につながってき
ました。今年も、子どもたちの豊かな育ちのために、保護者が安心して働き子育てできるように、保育者が元氣
に働き続けられるように、力をあわせて秋の大運動を広げていきましょう。

☆実行委員長のご挨拶

実行委員長は5つの団体で順番に担っています。

今年是一般社団法人社会福祉経営全国会議大阪支部 支部長の叶原さんです。

いま、保育現場では圧倒的な人手不足を背景に、「思い描く保育ができない」「保育士同士がゆっくりと話がで
きない」「保護者の悩みに付き添う余裕がない」など悩みを抱える保育士さんの切実な願いが私の所属する社会福祉
経営全国会議大阪支部へ届いています。また、多くの保育所が保育士の確保と定着が厳しく施設経営に苦慮して
いるという声が増えています。

国はデジタルトランスフォーメーション施策(DX:デジタル技術を活用して組織を根本から変革するもの)を官民
一体となって急速に進め人手不足をなんとかカバーしようとしています、またそのことを投資の対象としてすすめ
ようとしています。デジタル技術をすべて否定するものではありませんが、保育・学童保育・子育てに直接かわる
仕事は「人」でありその技術をデジタルに変えることはできません。まして、それを投資の対象とするなどとはとんで
もないことです。

本来の保育実践とは、子どものことを語り合い、保護者の悩みに耳を傾け、保育者同士が支えながら実践をつく
っていく土台が必要です。それを実現するためには、保育士の基準配置を高め、処遇を抜本的に改善し、将来にわ
たって働き続けられる保証が必要です。そのためには、DX により人手不足を解消するのではなく保育予算を国の
責任でしっかりと確保することを最優先課題にしなければならないと思います。

現在国は次年度の予算編成にあたり作業をすすめています。その内容をみていると、社会保障・社会福祉の予算
を削減し、他国と戦うための必要性を訴えその予算をさらに増やそうとしています。平和のうちに生存する権利が
守られてこそ、保育・学童保育・子育て支援が充実します。2026 年保育・学童保育・子育て支援の充実を求める秋
の大運動が始まります。「秋の大運動」スタート集会を成功させて、自治体キャラバン・2026 年度国会、大阪府議会
への請願署名の目標達成への大きな弾みをつけましょう。

2026秋の大運動実行委員長・叶原生人

☆秋の大運動のなかま

保育・学童保育に関係する5つの団体で構成されています。一緒にとりくむ団体を紹介します。

◎ 大阪保育運動連絡会(だいほれん)

子どもと働く者(保護者・保育者)の生活と権利を守るために 保育所・幼稚園の内容向上、保育者の処遇改善の運動をすすめることを目的とし活動はニュースの発行、学習、保育政策の改善のため調査研究と合わせ要求実現ため署名や請願行動などを行います。大保連の目的に賛同する団体(保育園・保護者会・労働組合など)と個人(保護者・保育者・研究者など)で構成しています。



◎ 大阪学童保育連絡協議会(がくほきょう)

学童保育が必要な1~6年生すべての子どもが入所でき、安心安全で、子ども自身が通いたい場になることをめざしています。各地の情報を交流し、施設環境の改善・内容充実などを考えあい、国・府・市に向けて学童の充実を求めています。

子どもの声(ねがい)、異年齢仲間での育ちあい、共同の子育てを大切に、各地の保護者会・連絡協議会・指導員(支援員)会などでつながっています。



◎ 大阪自治体労働組合総連合(じちろうれん)

大阪府内の自治体(府・市町村)公共施設などの職員、子育て支援に関わって、保育所・認定子ども園・子育てセンター・障害児通園施設・学童保育などの保育士・保育教諭・非正規員・指導員・相談員・調理員・用務員・事務職などさまざまな専門職で作る労働組合です。

私たちは現場で抱える保育士不足、保育士の労働条件や労働環境の改善に向けて、みんなで力を合わせて様々な運動をしています。年に一度の秋の署名では、地域の保育関係者や保護者などと一緒に保育現場の声を上げながら一筆でも多く署名を集めていきたいと思ひます！

地域と繋がり、運動していきます。

◎ 全国福祉保育労働組合大阪地方本部(ふくほう)

大阪府内の民間(私立)の保育園や、高齢者介護、障害児者施設・児童養護施設・福祉団体等の福祉職場で働く職員でつくっている労働組合です。

この間、公定価格の引き上げもあり、保育士の賃上げがなされましたが、物価高には追いつかず、全産業月平均に比べ低い賃金差は埋まっています。

保育士の他産業への流出もおこっており、保育士不足は深刻です。「子どもの笑顔・発達保障・命を守りたい」「子ども一人ひとりとゆっくりかかわりたい」「保育士ずっと続けたい」など保育労働者の思いを実現するためにも、働き続けられる賃金・処遇、労働基準法が守られる職員配置等、制度拡充をめざします。



◎ 社会福祉経営全国会議

大阪支部保育部会(ぜんこくかいぎ)

「権利としての社会福祉」を求め実現することがいまの時代に最も求められています。

大阪支部は子ども・障害・高齢の分野横断で「共同」して運動している社会福祉法人(主に)の全国組織の団体です。支部の保育部会は大阪府内の保育園の園長が運営しています。連帯も強く他団体とも連動して研修、学習、調査、交流しています。

今年も秋の大運動に参加して、子どもたち、保護者、職員、地域のために制度拡充、処遇改善をめざしてともに運動していきたいと思ひます。

「秋の大運動」が始まりました。子どもたち・大人たちの「思い」「願い」を集め、国・自治体へ届ける大切なとりくみです。

*私たちの願いを多くの方から賛同いただく「署名活動」

*府内43市町村の保育・学童保育担当者と情報共有・意見交換をする「自治体キャラバン」

など、すすめていきます。

学習会や交流もしながら、子どもの育つ環境や子育て支援について、思いを出しあっていきましょう！

